

被爆73周年、第26回ヒロシマ市民の描いた

原爆

絵画展 入場無料

2018年8月25日(土) AM 11:00～ PM 7:00

2018年8月26日(日) AM 9:30～ PM 6:00

坂戸市文化施設オルモ(東武東上線北坂戸駅東口すぐ前)



今年は、被爆・敗戦から73年です。
1945年8月6日、広島に落とされた原爆。
被爆した市民の描いた何千枚もの絵画。
広島市民の手による、あの日の広島の記録。
その絵画の一部をお借りし、展示いたします。
どうぞ、ご覧ください。
ふるさとの美しい風景、
かけがえのない子どもたちの未来、
私たちの大切なものを、失わないために。
悲惨な戦争を、二度と繰り返さないために。

<特別企画>

8月26日(日)13時30分～

坂戸市文化施設オルモ2階情報研修室

13:30 「あじさいの会」による平和紙芝居

14:00 ヒロシマに学ぶ埼玉子ども代表団報告

14:30 語り部 服部道子さんのおはなし



原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会のホームページをご覧ください。

これまでの絵画展の報告書を掲載しています。

「原爆絵画展」、または、「原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会」で検索してください。

主催：原爆絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会

(問い合わせ先・TEL 049-289-2527 武井)

後援：広島市、長崎市、埼玉県・坂戸市・鶴ヶ島市及び各教育委員会、丸木美術館
埼玉新聞社、テレ玉、FM NACK5、NHKさいたま放送局
朝日新聞社さいたま総局、読売新聞さいたま支局、毎日新聞さいたま支局、
東京新聞さいたま支局、琉球新報社 (一部申請中)

(この催しは、みなさんのカンパ、ご協力をいただき開催しています。)



昨年原爆絵画展見学者の感想より

(会場：坂戸市オルモ)

*戦争って悲しいし、おそろしいと思いました。

(小4・男)

*たくさんの方が死んだとわかった。さいしょはたすかっても、後でしんでしまう人もいた。

絵がすごくこわかった。(小4・女)

*日本人はひがい者でもあるけど、かがい者でもあることを知りました。

絵はひとつひとつ心がこもっていて、それが「悲しい」「さみしい」「苦しい」とさけんているような気がします。もう二度と日本に、世界に「戦争」が起きないことを願います。(小5・男)



特別企画：平和紙芝居(あじさいの会)

*原爆のおそろしさをしらなかったのでびっくりしました。(小6・女)

*原爆の恐ろしさを改めて知りました。絶対に二度と戦争をしてはいけません。(中2・男)

*人間のすることじゃありませんね。二度と起こしてはいけません。この様な機会を設けて頂きありがとうございます。(20代・男)

*子どもにはなかなか伝えられないので、実際目でもらうことで、当時の様子を知ってもらえたかと思えます。自分自身も学ぶことができました。悲しい思いをする人がいない世の中になることを願います。(30代・女)

*普段なかなかこのようなことを学ぶ機会はないので、子どもに見てもらいたくて家族で来ました。繰り返さないためには、真実を知ることが第一歩だと思います。多くの人にも見てほしいです。

(40代・女)



平和公園：原爆の子の像

*とても考えさせられる展示でした。私たちが忘れてはならない、繰り返してはならない戦争ですね。(50代・女)

*こんなに多くの原爆絵画を見たのは初めてでした。(60代・男)

*二度とこのような事があってはならないとつくづく思います。(70代・男)